

令和3年2月15日
(2021年)

保護者の皆様

吹田市立千里丘北小学校
校長 高 誠一

「千里丘北小学校についての学校アンケート」の結果報告について

立春の侯、保護者の皆様にはますますご清祥のことと、お喜び申し上げます。日頃は本校教育にご理解とご協力をたまわり、誠にありがとうございます。

さて、昨年12月に行いました学校教育自己診断には、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の取組で、学校生活は変更を余儀なくされたことも多い中ご協力いただきありがとうございました。アンケートの集計及び結果の分析について、以下の通り、ご報告させていただきます。なお、アンケート分析から次の通り考察し、今後の学校教育に活かしていきたいと存じます。

1、評価の方法について

保護者の皆様を対象に実施したアンケートは、①～⑫までの設問を「1.学校の教育活動に関するもの」⑬～⑲を「2.学校経営に関するもの」と分類しております。

アンケートを分析するにあたり保護者向けのアンケートにつきましては「そう思う」「どちらかという」と「そう思う」という回答を肯定的な評価として判断し、肯定的な評価が80%を超えるものを「概ね満足していただいている」と判断しております。

また、児童向けのアンケートでは低・中・高学年用に分けて実施いたしました。なお、保護者向けと同様に肯定的な評価が80%を超えるものを「概ね満足していている」と判断しております。

保護者・児童の両アンケートにおいて80%未満のものにつきましては、特に今後の学校教育活動の中での工夫・改善点として判断しております。

2、アンケートの結果と考察

【保護者】回答 488(無回答含む)

○結果

保護者の皆様を対象に実施したアンケートは、①～⑫までの設問を「1.学校の教育活動に関するもの」⑬～⑲を「2.学校経営に関するもの」と分類しております。

全体の概要としてアンケート全19項目のうち、18項目について概ね満足していただいているという回答をいただきました。

「1.学校の教育活動に関するもの」からは「6.学校は保護者の相談に応じている」の項目で、「そう思う」の回答が51%で昨年度を11%上回り、肯定的な回答が95%となりました。「12.先生は教育活動において児童の人権を尊重する姿勢で指導している」の項目でも、「そう思う」の回答が41%で昨年度を9%上回り、肯定的な回答が93%となりました。

一方、「3.この学校は、他の学校にはない特色ある教育活動に取り組んでいる」の項目では、肯定的な回答は79%と、昨年度より15%下回りました。

「2.学校経営に関するもの」からは、「16.学校では、授業参観（オープンスクール等）を通して、子どもの様子がわかるような機会を設けている」の項目では、肯定的な回答は86%と、昨年度より6%下回り、「19.学校サポートチーム活動やPTAの活動に参加してことがある」の項目では、肯定的な回答が54%と、昨年度より8%下回りました。

○考察

「1.学校の教育活動に関するもの」ではすべての項目で、概ね80%以上の肯定的な評価が得られました。特に「学校は保護者の相談に応じている」や「児童の人権を尊重する姿勢で指導している」の項目で「そう思う」と回答いただいた方が増えたことは、大変喜ばしいことで、今後も引き続き、児童や保護者の皆様からご信頼いただけるよう努めてまいります。

今年度は、年度当初より新型コロナウイルス感染症の感染拡大を予防するため、学校行事を大幅に変更することとなり、特に保護者の皆様に来校いただく機会を設定することができなかったため、「授業参観（オープンスクール等）を通して、子どもの様子がわかるような機会を設けている」の項目での肯定的回答率の低下がみられたと考えます。また、このような状況において、PTAを中心とした学校サポート活動も活動を縮小していただかざるを得なかったことから「学校サポートチーム活動やPTAの活動に参加してことがある」の項目での肯定的回答率の低下がみられました。

今後も、グローバルとローカルの視点を合わせもつ総合的な人間力の形成をめざして、千里丘北小学校としての特色ある教育活動に取り組むとともに、子どもたちがより意欲的に活動できるよう工夫に努め、今後の改善に向け、対策を考えていく必要があります。今後ともご理解とご協力をいただけますようよろしくお願いいたします。

【児童】

低学年 回答 285(無回答含む)

○結果

全体の概要として全15項目のうち、13項目については「概ね満足している」という回答がありました。90%を超える肯定的回答の評価項目については「せんせいはわたしたちのいけんをきいてそうだんにのってくれる。」「じゅぎょうはわかりやすくてたのしい」「がっこうでのルールをがくしゅうしている。」「うんどうかいやえんそくなどのがっこうぎょうじはたのしい」「がっこうではじけん・じしんやかさいなどがおこったときどうしたらいいかがくしゅうしている。」「がっこうにはよくあそんだりはなしたりするともだちがいる。」がありました。昨年度より、下回った項目は、「じゅぎょうでコンピューターなどをがくしゅうしている。」でした。

○考察

「せんせいはわたしたちのいけんをきいてそうだんにのってくれる。」「じゅぎょうはわかりやすくてたのしい」がっこうでのルールをがくしゅうしている。」「うんどうかいやえんそくなどのがっこうぎょうじはたのしい」「がっこうではじけん・じしんやかさいなどがおこったときどうしたらいいかがくしゅうしている。」「がっこうにはよくあそんだりはなしたりするともだちがいる。」の項目では、90%を超える肯定的回答でした。特に「じゅぎょうでよくてをあげる」「じゅぎょうでわからないことをせんせいにきける」の項目については、昨年度比で10%増加と肯定的回答が多かったです。これらの回答により、学校生活を円滑に楽しく過ごしていることがわかります。今後も学校行事の充実に向けて取り組みを進めていくとともに、グローバルな教育を推進していきたいと考えます。

授業に関する設問では、「じゅぎょうはわかりやすくてたのしい。」「じゅぎょうでよくてをあげる。」「じゅぎょうでわからないことをせんせいにきける」の項目について、肯定的な回答が昨年度より上回りました。しかしながら、「じゅぎょうでコンピューターなどをがくしゅうしている。」の項目は、昨年度比で2%減少しており、今後に向けて改善が必要です。今後とも、より「わかる授業」「授業づくり」の研究を積み重ねることで授業の改善につなげ、よりわかりやすい授業をめざしていきたいと考えています。「がっこうではいのちのたいせつさやひとへのおもいやりをがくしゅうしている。」「がっこうでうちのひとやちいきのひとといっしょにがくしゅうすることがある。」においては、肯定的回答が昨年度と同

等でした。

今後も学校行事の充実を図るとともに、豊かな人間関係の中で安心して暮らせる学校づくりに取り組んでいきたいと考えます。

中学年回答 231(無回答含む)

○結果

全体の概要として全15項目のうち、12項目については「概ね満足している」という回答がありました。回答値が90%を超える項目もあり、昨年度よりポイントが増加しているのは、「学校へ行くのが楽しい。」「先生は、私たちの話や意見を聞いて、相談にのってくれる。」「授業は、わかりやすく楽しい。」「先生は、がんばったことを認めてくれる。」「学校や社会のルールについて学習している。」「学校では、命の大切さや人の思いやりを学習している。」「学校には、遊んだり話したりする友だちがいる。」「校長先生の話はわかりやすい。」「運動会や遠足などの学校行事は楽しい。」「あゆみは、わかりやすい。」でした。

「授業などでコンピューターなど学習している。」「学校でお家の人や地域の人と一緒に学習することがある。」項目では、昨年度より肯定的回答が下回りました。

○考察

「学校へ行くのが楽しい。」「学校には、遊んだり話したりする友だちがいる。」の項目については、昨年度比で3～6%増加と肯定的回答が多くみられました。これらの回答により、学校生活を円滑に楽しく過ごしていることがわかります。今後も学校行事の充実を図るとともに、豊かな人間関係の中で安心して暮らせる学校づくりに取り組んでいきたいと考えています。

授業に関する設問では、「授業はわかりやすく、楽しい。」の項目は昨年度より肯定的回答が上回ったものの、「授業で考えをまとめたり、発表したりすることがある」「授業などでコンピューターなど学習している」の項目は、昨年度に比べて肯定的意見が下回っており今後の改善が必要であると考えます。

「授業づくり」の研究を積み重ねることで授業の改善につなげ、よりわかりやすい授業を目指していきたいと考えています。

「学校では、命の大切さや人への思いやりを学習している」「学校では、事件・地震や火災などが起こったときどうしたらいいか学習している」項目では、昨年度に比べて肯定的回答が上回っており、今後とも道徳的教育や防災知識の学習に取り組んでいきたいと考えています。

高学年 回答 132(無回答含む)

○結果

全体の概要として「概ね満足している」という回答が目立ちました。90%を超える肯定的回答の項目は、「先生は、自分が努力したことを認めてくれる。」「学校や社会のルールについて学習している。」「学校では命の大切さや、人への思いやりを学習している」「運動会や遠足などの学校行事は楽しい。」「学校では、事件・地震や火災などが起こったとき、どうしたらいいか学習している。」「学校には、遊んだり話したりする友だちがいる。」でした。また、昨年度より肯定的回答が上回った項目は、11項目に上りました。

昨年度より、肯定的な評価が低かった項目は、「授業などでコンピューターなど学習している」「学校でおうちの人や地域の人と一緒に学習することがある。」の項目でした。

○考察

「先生は、自分が努力したことを認めてくれる。」「学校や社会のルールについて学習している。」「学

校では命の大切さや、人への思いやりを学習している。」「運動会や遠足などの学校行事は楽しい。」「学校では、事件・地震や火災などが起こったとき、どうしたらいいか学習している。」「学校には、遊んだり話したりする友だちがいる。」の項目では、90%を超える肯定的回答でした。児童と教師の関係がよく、円滑に学校生活を過ごすことができていることがわかります。今後もより一層工夫を続けていきます。

しかしながら、「授業などでコンピューターなど学習している。」「学校でおうちの人や地域の人と一緒に学習することがある。」の項目が昨年度より肯定的回答が下回っています。iPadを導入する前段階としてコンピューター室のパソコンを撤去したことや、コロナ禍においてゲストティーチャーをお招きできないことなどが関係していると考えられます。今般のコロナ禍の状況を鑑みて、iPadを活用した授業や、制限が多くありますが関係各所と連携した企画を検討していきます。

授業に関する設問では、「授業はわかりやすく楽しい」「授業で考えをまとめたり、発表したりすることがある。」「授業でわからないとき、先生や友だちに聞ける。」の項目で昨年度より肯定的回答が上回りました。今後も、高学年として「わかりやすい授業」をめざした教育活動の展開や、iPadを活用した授業の展開を研究し、より一層の工夫を進めていきます。

この学校アンケートは、児童（低・中・高別）・保護者・教職員からのアンケート結果から、学校としての課題を整理し、結果を考察し、今後の教育活動・学校運営に活かすためのものです。

回答していただいた皆様の声を大事にしながら、「子どもたちのために」教育活動を展開してまいります。

また、学校の状況や教育に関する情報は、学校・学年だより、学校ホームページ・ブログなどを利用しながら、日々子どもたちの様子や学校の取組について、お伝えしていきます。今後とも、保護者の皆様のご協力・ご支援をよろしくお願いいたします。